

「健康なかつがわ２１（第二次）」計画の進捗状況

※現状値に○がついた項目は計画策定時より改善したもの
赤字は令和元年度新規事業

資料 1

	分野	項目	策定時項目		現状値項目		目標値項目		令和元年度 健康づくり事業の主な取り組み
健康 の 延 伸 寿 命	健康 の 延 伸 寿 命	健康寿命の延伸(日常生活が自立している期間の平均の延伸)	男性 78.87 女性 83.21	H22年	男性 79.73 女性 84.16	H28年	延伸	平成32年 (2022年)	
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	がん	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	80.2	H22年	71.7	H29年	減少傾向へ	平成34年 (2022年)	①発症予防 ・肝炎ウイルス検査費用の公費助成(40歳と45.50.55.60歳で初めて受ける方) ②がん検診受診率の向上 ・がん検診手帳(説明書)の配布と無料検診の実施 子宮頸がん検診 20歳 乳がん検診 40歳 ・大腸がん無料検診の実施(40～69歳) ・日曜日検診(5回)、土曜日検診(2回)の実施 ・がん検診と特定健康診査の同時実施(19回) ・検診時に託児の実施 ・国民健康保険加入者への受診勧奨 ・生命保険会社と協働し、がん検診受診勧奨のリーフレット配布 ③重症化予防 ・精密検査対象者に対する受診勧奨 (注)がん検診受診率の算出方法が平成28年度より変更され、対象者数は対象年齢の全住民(人口割)とする
		②がん検診の受診率の向上	H23人口割						
		・胃がん(50-69歳)	男性 4.7% 女性 8.2%		男性 5.4% 女性 7.6%				
		・肺がん(40-69歳)	男性 6.4% 女性 14.6%		男性 4.5% 女性 9.4%				
		・大腸がん(40-69歳)	男性 3.8% 女性 7.3%		男性 3.4% 女性 7.3%				
		・子宮がん(20-69歳)	女性 18.4%		14.3%				
		・乳がん(40-69歳)	女性 23.4%		20.5%				
	循環器疾患	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)							①特定健診未受診者対策 ・情報提供事業の実施(10～2月) ・自己負担金の変更(880円⇒500円) ・実施期間の延長(6～9月⇒6～10月) ・訪問等による受診勧奨 ・コールセンターを活用した電話による受診勧奨 ・健康推進員を対象に健診に関する知識の普及啓発 ・未受診者健診の実施(1月に実施予定) ・生活習慣病治療中者に対する対策として、本人に検査結果の情報提供を依頼。 また市内医療機関に治療中者の健診受診の協力を依頼。 ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ・食・運動体験教室の実施 ③重症化予防 ・重度の高血圧者に対する医療機関への受診勧奨及び継続受診の勧め ・治療中断者に対し治療継続の勧め ・本人の希望に応じて保健指導、栄養指導を実施を締結
		・脳血管疾患	男性 51.3 女性 28.0	H22年	男性 34.2 女性 21.2	H29年	減少	H34年 (2022年)	
		・虚血性心疾患 (急性心筋梗塞)	男性 22.0 女性 8.7		男性 19.3 女性 5.1		減少		
		②高血圧の割合の減少(140/90mmHg以上の人の割合)	男性 31.6% 女性 29.4%	H23年度	男性 25.2% 女性 19.9%	H30年度	減少	H34年度 (2022年度)	
		③脂質異常症の減少 (LDLコレステロール160 mg/dl以上の人の割合)	男性 9.2% 女性 15.3%		男性 7.8% 女性 12.4%		男性 6.2% 女性 8.8%		
		④メタボリックシンドローム予備群・該当者の減少	予備群・該当者1,067人 (20.8%)		1,077人 (23.5%)		平成20年度と比べて25% 減少 18.8%	平成34年度 (2022年度)	
		⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上		H23年度 (法定報告)		H29年度 (法定報告)			
		・特定健康診査の実施率	36.1%		37.6%		60%	平成35年度 (2023年度)	
		・特定保健指導の終了率	51.8%		79.1%		80%		
	糖尿病	①糖尿病有病者の増加の抑制 (服薬中またはHbA1c6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合)	8.9%		10.5%		減少		①特定健診未受診者対策 ・情報提供事業の実施(10～2月) ・自己負担金の変更(880円⇒500円) ・実施期間の延長(6～9月⇒6～10月) ・訪問等による受診勧奨 ・コールセンターを利用した電話による受診勧奨 ・健康推進員を対象に健診に関する知識の普及啓発 ・未受診者健診の実施(1月に実施予定) ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ・食・運動体験教室、適糖生活セミナーの実施 ③重症化予防 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施 ・治療中断者やHbA1c6.5以上で未治療の者に対し治療の勧め ・治療中の希望者については医師の指示のもと、管理栄養士による栄養指導を実施
		②治療継続者の割合の増加 (前年度 当該年度共に服薬ありと回答した人の割合)	84.0%	H23年度	92.9%	H30年度	現状維持	H34年度 (2022年度)	
		③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 (HbA1c がJDS値8.0%(NGSP 値8.4%)以上の人の割合)	0.4%		0.7%		現状維持		

「健康なかつがわ 2 1（第二次）」計画の進捗状況

※現状値に **○** がついた項目は計画策定時より改善したもの
赤字は令和元年度新規事業

資料 1

	分野	項目	策定時項目		現状値項目		目標値項目		令和元年度 健康づくり事業の主な取り組み
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	慢性腎臓病	①糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	9人	H23年	13人	H30年	減少	H34年度 (2022年度)	①発症予防 ・妊婦健診における将来の生活習慣病ハイリスク者に対する産後フォローの実施(定期健診のすすめ) ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ②重症化予防 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施 中津川・恵那地域 糖尿病腎症重症化予防プログラム連携会議への参加 ・腎機能低下の原因となる糖尿病、高血圧、高尿酸等の改善のため、腎機能低下者に対する食生活改善指導や必要に応じて受診勧奨
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	栄養・食生活	①適正体重を維持している人の増加 (肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少)							①健康な食(バランス食)の普及 ・中津川市食生活改善サポーター等によるけんばちくん弁当の普及推進(私立幼稚園での親子調理実習、男性料理教室、 公民館まつりでの弁当販売) ・ちこり村でけんばちくんサンドの販売 ・菱風荘、スマイル、ディアクックでけんばちくん弁当を販売 ・企業の給食施設でけんばちくん弁当レシピを活用(恵美グループ、美濃工業) ・企業への出前講座の実施 ・ぎふ食と健康応援店の登録勧奨と普及啓発 ・けんばちくん弁当の基準を「健康な食事・食環境」認証制度のスマートミールの基準に変更 ・モニター広告、ぎふチャンデータ放送、市Facebookを活用してPR ・学校給食で、けんばちくんメニュー給食を月1回実施 ②減塩の意識づけと高血圧、脳血管疾患普及啓発 ・3歳児健診での尿中塩分量測定と過剰摂取者へ個別栄養指導の実施 ・特定健診二次検査で尿中塩分量測定と過剰摂取者へ個別栄養指導の実施 ③食育推進会議の実施 ④健康福祉まつりにて食育イベントの実施 ⑤食育指導者研修会の実施 ⑥学校の希望により、肥満及びやせ、血液検査、血圧において異常のあった児童・生徒及びその保護者に対して栄養・食生活改善指導を実施 ⑦特定健診結果より肥満であった方に対し、食生活習慣改善のための個別保健指導及び教室の開催(作って食べよう500kcalのけんばちくんランチ教室) ⑧市広報、ホームページ「健康なび」及び民間の料理サイト(クックパッド)を活用し、食べて健康レシピ(野菜を使った手軽にできるメニュー)を配信 ⑨食べて健康レシピの冊子を作成し市内スーパー等に配置予定
		・20歳代女性のやせの人の割合の減少 (妊娠前にやせの人の割合)	22.6%	H23年度	21.6%	H30年	20%	H34年度 (2022年度)	
		・全出生数中の低出生体重児の割合の減少	9.6%	H22年	11.3%	H29年	減少傾向へ	平成34年 (2022年)	
		・肥満傾向にある子どもの割合の減少 (小学5年生の中等度・高等度肥満傾向児の割合)	男子 4.28% 女子 2.88%	H24年度	男子 4.14% 女子 4.66%	H30年	児童・生徒における肥満傾向児の割合 7.0%	平成34年度 (2022年度)	
		・30～60歳代男性の肥満者の割合の減少	23.0%	H23年度	26.6%	H30年度	現状維持又は減少	H34年度 (2022年度)	
		・40～60歳代女性の肥満者の割合の減少	14.4%		15.9%		現状維持又は減少		
		・低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の減少	21.1%		22.3%		22%		
		②朝食欠食者の減少	3歳児 4.4% 5歳児 1.6% 小学生 1.1% 中学生 5.5%	H23年度 (5歳児はH24年度)	3歳児 1.9% 5歳児 0.3% 小学生 2.1% 中学生 6.0%	H30年	0%	H34年度 (2022年度)	
		③朝食共食者の増加 (食事を1人で食べる子どもの割合の減少)	5歳児 92.8% 小学生 84.9% 中学生 63.1%	H23年度	5歳児 89.9% 小学生 85.2% 中学生 70.0%	H30年	増加傾向へ	H34年度 (2022年度)	
	身体機能の維持・向上	①運動習慣者の割合の増加							①壮年期・中年期の方の運動のきっかけ作りで、アプリを利用したウォーキングを実施 ②糖尿病の発症予防を目的とした運動教室を継続実施 ③水中運動教室を継続実施 ④特定健診受診者に運動教室の勧奨 ⑤健康推進員と歩こう！ウォーキングの継続実施 ⑥生涯学習スポーツ課と連携し、ウォーキングコースの設定(福岡・中津南・加子母) ⑦出前講座で介護予防についての知識を普及 ⑧市ホームページ「健康なび」上で運動イベントの情報発信(軽スポーツ・ウォーキング大会など) *()内は介護保険第1号被保険者 サービス利用率
		・30～64 歳	男性 29.9% 女性 23.3%	H23年度	男性 26.7% 女性 24.6%	H30年度	男性 36% 女性 33%	H34年度 (2022年度)	
		・65 歳以上	男性 46.8% 女性 45.8%		男性 43.3% 女性 40.2%		男性 58% 女性 48%		
		②介護保険サービス利用者の増加の抑制	3,207人 (13.8%)	H22年度	4,335人 (17.2%)	H30年度	4,666人 (18.7%)	H37年度 (2025年度)	

「健康なかつがわ２１（第二次）」計画の進捗状況

※現状値に○がついた項目は計画策定時より改善したもの
赤字は令和元年度新規事業

資料 1

	分野	項目	策定時項目		現状値項目		目標値項目		令和元年度 健康づくり事業の主な取り組み		
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	飲酒	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少 (一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g 以上、女性20g以上の人の割合)	男性 12.7% 女性 6.3%	H23年度	男性 11.6% 女性 6.3%	H30年度	男性 10.0% 女性 5.0%	平成34年度 (2022年度)	①ハイリスク者へのはたらきかけ ・ アルコール電話相談 の実施(月1回) ・健診受診者への個別指導 ②適正飲酒の推進 ・健診受診者への個別指導、健康まつりでの普及啓発		
		②妊娠中の飲酒をなくす	4.6%		1.0%		0%				
	喫煙	①成人の喫煙率の低下	12.1%	H23年度	11.2%	H30年度	10%	平成34年度 (2022年度)	①禁煙支援の推進 ・禁煙電話相談(月1回)、個別支援(随時) ②受動喫煙防止対策の推進 ・市内382か所の公共施設に受動喫煙防止啓発ポスターを掲示予定 (ポスターは市内小中学生より募集) ③ 改正健康増進法の周知		
		②妊娠中の喫煙をなくす	2.1%		1.8%		0%				
	歯・口腔の健康	① 歯の喪失防止		H23年度		H30年度		平成34年度 (2022年度)	① 健全な歯・口腔の育成支援 ・教室・相談時に、保護者も含め、年齢に応じた歯科保健指導の実施 ・フッ化物応用の推進 ・小学4年生・ 中学1年生 を対象に、歯科保健教室を実施 ・ 養護教諭との勉強会を実施 ・嚙ミング30の普及 ② 歯周病の早期発見・重症化予防・セルフケア能力の向上支援 ・妊婦歯科健診、節目歯科健診(40、50、60、70歳)を医療機関委託にて実施 ・出前講座、教室等での歯周病予防、口腔機能維持、向上教育の実施 ・8020運動の推進		
		・60歳で24歯以上の歯を有する人の割合の増加	69.7%		84.3%		現状維持				
		・40歳で喪失歯のない人の割合の増加	89.7%		90.7%		90%以上				
		②歯周病を有する人の割合の減少		H23年度							
		・20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	42.7%		40.3%		25%	H34年度 (2022年度)			
		・40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	32.6%		44.2%		25%				
		・60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	59.0%		66.3%		45%				
		③幼児・学齢期のむし歯のない子の増加		H23年度							H34年度 (2022年度)
		・3歳児でむし歯のない子の割合の増加	88.9%		94.1%		現状維持				
		・12歳児の一人平均むし歯数の減少	0.65歯		0.32歯		現状維持				
	こころ・健康	①自殺者数の減少 (人口10万人当たり)	19.8	H22年	21.35	H30年	自殺対策計画 に合わせて設定	平成37年度 (2025年度)	①自殺に関する知識の普及啓発 ・ 自殺対策計画の策定 ・窓口担当者会議の実施 ②心のなんでも相談		
健康づくりに取り組む関係機関・団体との連携強化	市民団体と	①健康推進員活動	実施	H23年度	実施	H29年度	実施継続	H34年度 (2022年度)	①地域住民と共に健康づくり活動の実施 ②地域への健康情報の回覧、集会所の受動喫煙防止対策を実施 ③健康推進員と歩こう！ ウォーキングの継続実施 (各地区16か所で開催)		
	との関係機関	①連絡会議の開催	実施		実施		実施継続		①健康づくり推進協議会の開催 ②食育推進会議の開催 ③CKD及び糖尿病予防連絡会議の開催		
	健康情報の提供	①健康情報の提供	実施		実施		実施継続		①市ホームページ上の健康づくりのページ「健康なび」を充実 イベント情報など掲載 ②健康づくり取り組み隊の募集・市ホームページで情報提供 ③けんぱちくんマイデザインを募集し、ポロシャツを製作してもらうことで、健康づくり活動の普及やきっかけづくりとします。 ④市内ウォーキング行事チラシを作成し、ウォーキングに楽しんで取り組めるようにします。 ⑤市内公共施設に「8万人のヘルスアップ」情報を継続して展示		